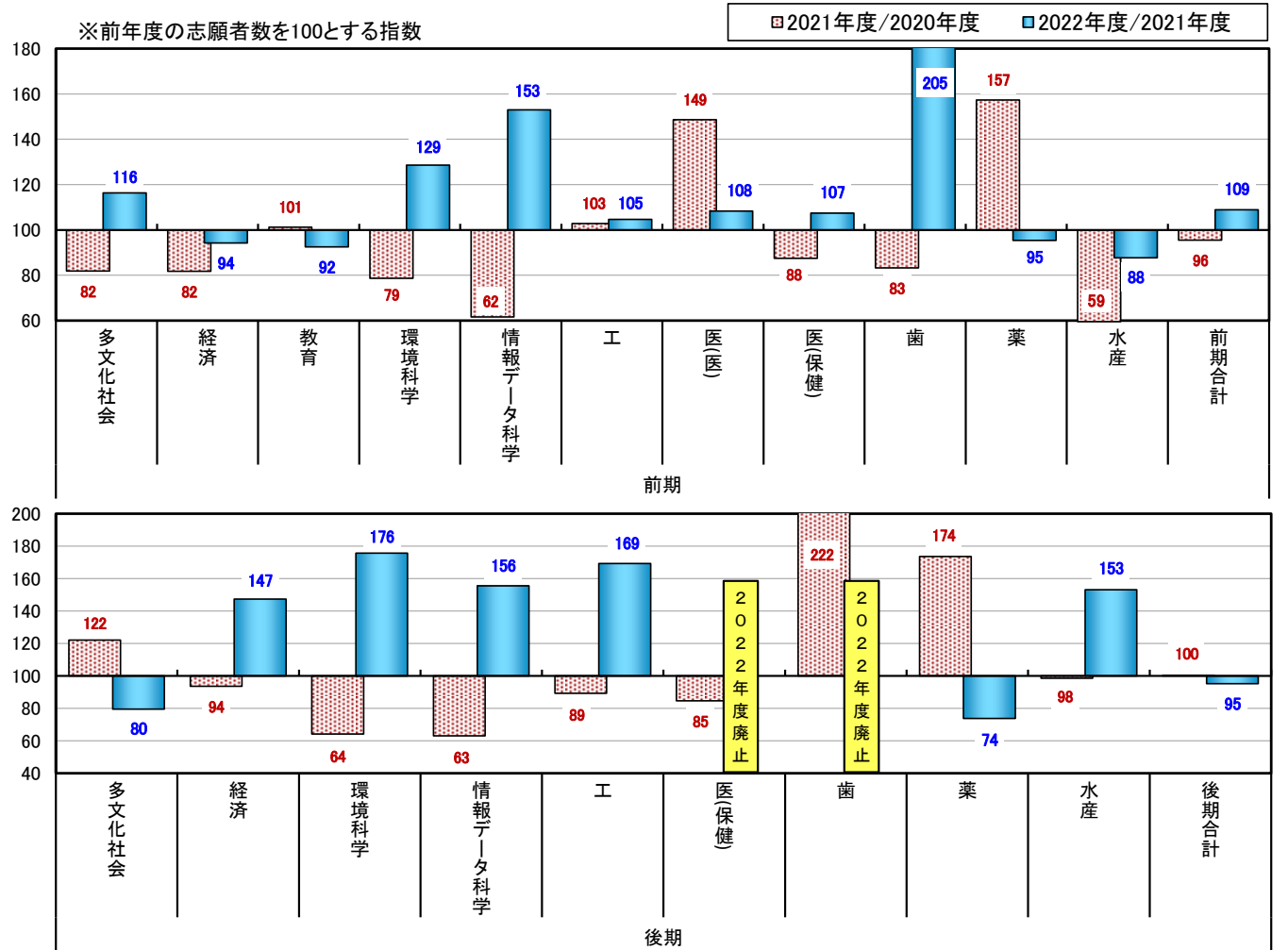


長崎大：前期は3年ぶり増加、後期は廃止学部・学科もありやや減少 前期：+235人 後期：-81人



主な入試変更点

選抜方法：医(保健)、歯…後期廃止
 教育<前>…面接の評価が著しく低い場合には、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある
 →面接の得点率が20%以下の者は大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする
 環境科学<後>…(合否判定基準追加) →総得点が著しく低い者は、不合格とすることがある

募集人員：医(保健/看護学)…<前>48人→54人、<後>10人→0人
 (保健/理学療法学)…<前>10人→15人、<後>5人→0人
 (保健/作業療法学)…<前>10人→14人、<後>5人→0人
 歯…<後>7人→0人
 環境科学…<後><選別方法A(文系)>13人→10人、<選別方法B(理系)>13人→10人
 工…<前>224人→<a方式>160人、<b方式>50人、<後>50人→53人

共通テスト：教育(学校教育教員養成/中学校教育-理系)<前>
 …国<200>+歴公<100>+数2<200>+外<300>+ {理2 or (理+理基2)} <200>=総点<1,000>
 →国<200>+歴公<100>+数2<200>+外<200>+ {理2 or (理+理基2)} <200>=総点<900>

環境科学<後>…国+歴公+外 ※「世B、日B、地理B」のうち1科目を「世A、日A、地理A」へ変更可
 →国+歴公+外 ※「世B、日B、地理B」のうち1科目を「世A、日A、地理A」へ変更不可
 <後>…数2+外+{理2 or (理+理基2)} →数2+理2+外

情報データ科学<前>…国+歴公+数2+外+ {理2 or (理+理基2)} →国+歴公+数2+理2+外
 <後>…数2+外+{理2 or (理+理基2)} →数2+理2+外

工(工)<前>…国+歴公+数2+外+ {理2 or (理+理基2)} →国+歴公+数2+理2+外
 <後>…国+歴公+数2+外+ {理2 or (理+理基2)} ※理：物基 or 化基 or 生基 or 地基、物 or 化
 →国+歴公+数2+理2+外 ※理：物+化

個別試験：教育(学校教育教員養成/中学校教育-理系)<前>…面+(数 or 理)→外+面+(数 or 理)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は235人(109)の増加で3年ぶりに増加。後期は81人(95)のやや減少。後期廃止の医(保健)と歯を除くと333人(127)の大幅増加。なお、多文化社会<前><後>、医(医)<前>、薬(薬)<後>、水産<前>で2段階選抜が実施された。

<前期日程>

○多文化社会(116)は、2年連続減少の反動で大幅増加。募集単位別では、(多文化社会/オランダ特別以外)(123)は2年連続

- 減少の反動で大幅増加。一方で、(多文化社会／オランダ特別)(60)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。募集人員が少ないこともあって、2017 年度以降は前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 経済(94)**は、やや減少で前年度の大幅減少に引き続いて2年連続減少。
 - 教育(92)**は、減少で4年ぶりに減少。コース・系別では、6 募集単位中4 募集単位が減少。(学校教育教員養成／中学校教育－実技系)(82)は2年連続大幅減少、(学校教育教員養成／中学校教育－理系)(87)は個別試験での科目負担増もあり減少。一方で、(学校教育教員養成／幼児教育)(144)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
 - 環境科学(129)**は、新設3年目だが2年連続大幅減少の反動で大幅増加。選抜方法別では、いずれも増加で、〈選抜方法B(理系)〉(150)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、〈選抜方法A(文系)〉(108)は増加で2年連続増加。
 - 情報データ科学(153)**は、前年度大幅減少の反動から大幅増加で、志願倍率も1.7倍→2.6倍にアップしたが、新設初年度の志願者数には及ばなかった。
 - 工(105)**は、2年連続やや増加。募集人員が14人(募集人員前年度対比指数94)減少もあり、志願倍率は2.1倍→2.3倍にアップ。2022年度から共通テスト重視配点の〈a方式〉と個別試験重視配点の〈b方式〉に分けて募集が行われたが、志願倍率は〈a方式〉が1.4倍、〈b方式〉が5.4倍と共通テストの平均点ダウンにより個別試験での逆転を目指す受験生からは〈b方式〉の人気が高かった。
 - 医(医)(108)**は、前年度の大幅増加に引き続き増加で、志願倍率は3.7倍→5.6倍→6.0倍とアップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は83.2%だった。
 - 医(保健)(107)**は、2年連続減少の反動は小さくやや増加に留まった。専攻別では、(保健／作業療法学)(121)、(保健／理学療法学)(119)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。なお、(保健／看護学)(100)の志願者数は前年度と同数。
 - 歯(205)**は、2年連続大幅減少の反動で倍以上。志願倍率も3.3倍→6.8倍にアップ。
 - 薬(95)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少に留まった。学科別では、6年制の(薬)(114)は増加で2年連続増加、4年制の(薬科学)(65)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
 - 水産(88)**は、減少で4年連続減少。志願者数は130人を下回り、志願倍率も3.1倍→2.7倍にダウン。なお、第1段階選抜は共通テスト900点満点中450点以上が合格者という基準点方式で、共通テストの平均点ダウンによる敬遠の影響もあった。

〈後期日程〉

- 多文化社会(80)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2019年度以降、前年度の反動による大幅な増減が継続。
- 経済(147)**は、3年連続減少の反動で大幅増加。志願者数は4年ぶりに300人を上回った。
- 環境科学(176)**は、3年連続大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も3.3倍→7.6倍にアップ。選抜方法別でも、〈選抜方法B(理系)〉(177)、〈選抜方法A(文系)〉(174)といずれも大幅増加。
- 情報データ科学(156)**は、新設3年目だが、前年度大幅減少の反動から大幅増加で、志願倍率も6.0倍→9.3倍にアップ。しかし、新設初年度志願者数にはわずかに及ばなかった。
- 工(169)**は、3年連続減少の反動で激増。志願倍率は5.0倍→8.0倍へアップ。
- 薬(74)**は、前年度激増の反動で大幅減少。学科別でも、2学科とも大幅減少。
- 水産(153)**は、大幅増加。志願倍率も2.8倍→4.4倍にアップ。